

名前：

私はインターネットが普及したからといって  
も、新聞や雑誌は必要だと思います。確かに  
インターネットは優れています。新聞や雑誌  
とは比べものにならないくらい大量の情報を  
取り扱うことができるし、何といても情報  
がすぐに入ってくるというメリットがありま  
す。この点では新聞や雑誌は全く歯が立ちま  
せん。そしてこの面ばかりに注目して「もう  
新聞や雑誌は必要ない」と考える人も出てき  
ているようです。しかし私は新聞や雑誌まど  
の紙面モノにもインターネットより優れた点  
が存在していると思います。まずは紙面記事  
だと、あるニュースを報道する時に読者に大  
きなインパクトを与えたかと思った場合には  
一面に大きく写真入りの記事を載せるまどと  
いうことをすることで、強烈な印象を与える  
ことができます。それに比べてインターネッ  
トでは確かに報道数は変わるかもしれないが  
画面上における視覚的なインパクトは大きな  
ニュースでも小さなニュースでも大した差は

ありません。大変なことが起きたという同じ  
認識を持っていても割合にこまれる印象  
の強さは違ってくるはずだと思います。  
次のような利点も考えられます。それは紙面  
記事だと、ある一定量の情報に限定される  
ということです。これには限られた情報にしか  
触れられまいと知識が限られてしまうという  
反論も出てくると思います。しかし世の中  
には優れた情報処理能力を持つ人ばかりいるわ  
けではありません。インターネットで大量の  
情報の中に投げ出されると、自分で情報を選  
別できずに多すぎる情報によってパニックに  
陥ってしまうことも考えられます。新聞や雑  
誌だと情報量が適度に抑えられるので、別に  
世の中の流れがほぼほぼに分かればいいとい  
う人にとっては便利なものです。  
結論としては、インターネットと紙面記事は  
両方とも大切であり、それらをうまく併用す  
ることで自分の見聞を広められるようにする  
ことが一番大切だと思います。

1800字